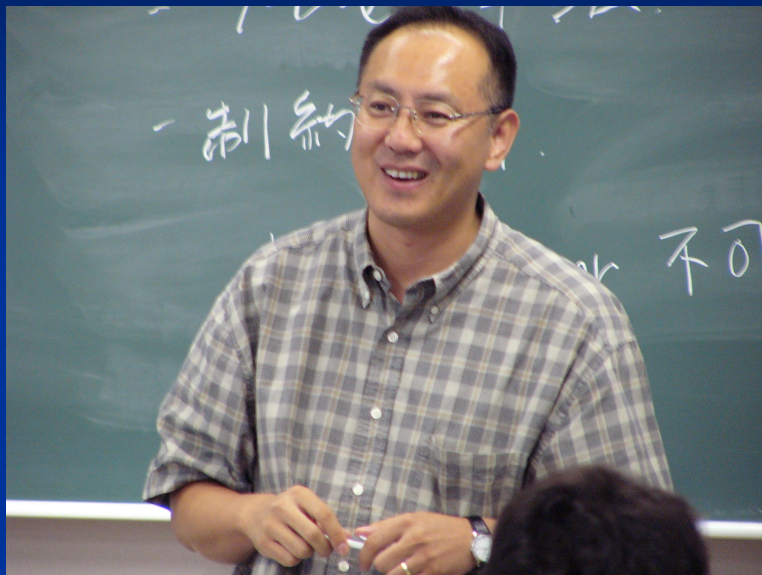


開講式・第1回セミナー（カレッジ・プラザ）

「地域力概論」講師 熊谷嘉隆（国際教養大学 助教授 兼 地域環境研究センター長）



熊谷助教授はこのセミナーの塾長的存在。
専門はエコ・ツーリズムと 持続的資源運営。
国際教養大学の地域環境研究センターのセンター長であり、
センターが地域に愛され、秋田の活性化になくなくてはならない
存在になることを切望している。
熊谷助教授とは1回会っただけでその人柄や熱意に誰もが
魅せられてしまう、そんな人である。
セミナーのトップを切った「地域力概論」では、地域活性化の
ための「地域資源のコーディネーター」の重要性を学んだ。



第2回セミナー（秋田県自治研修所）

「地域力2 計画立案と協働学習」 講師 熊谷嘉隆

「コミュニケーション概論」

講師 前中ひろみ

（国際教養大学 助教授 兼 地域環境研究センター員）



前中助教授は、コミュニケーションや特産品の開発 販売戦略の専門家。

コーディネーターの最も大事な力の一つであるコミュニケーション力。大学では概論でさえ1年以上かかる講義のポイントをわかりやすく濃縮してくれた。

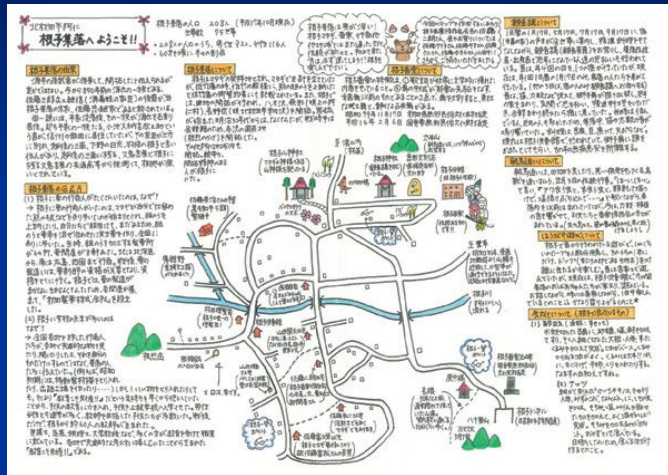
自己分析シートでは「目から鱗」の連続。

前中助教授は、セミナー全般を通じて、受講生のプレゼンテーションにも鋭い指摘とアドバイスを与えてくれる。

セミナーの2大黒柱。



現地研修・地元意見交換会（北秋田市阿仁）



第3回セミナー（国際教養大学）

「良いものをいかに売り込むか～効果的PRとメディアの使い方」

講師 勝又美智雄（国際教養大学 教授 兼 図書 情報センター長）



勝又教授は元日経の編集委員。
専門はメディア論と北米政治論。
秋田県人はなぜPRが不得意か？という問いかけからセミナー
が始まり、「企画立案では、プランの見事さではなく、必ずやり
遂げる情熱 熱意が最も重要である」と力説された。
ハートに響く第3回セミナーであった。



第4回セミナー（秋田県自治研修所）

建築文化論～伝統的民家の価値と活用」講師：ヨシナ・マルコワ
「現地イベント企画書最終選考会・実施検討会」

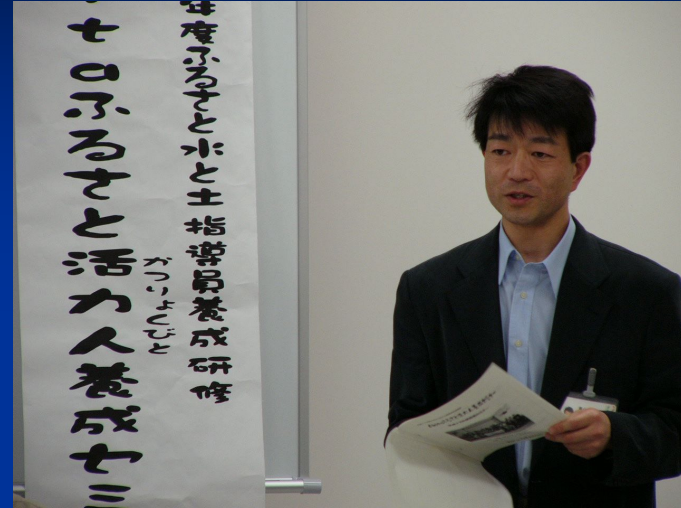


マルコワ助教授は、建築や伝統文化、エコミュージアムの専門家。ブルガリア出身であり6カ国語を話す。京都に長く在住していた頃、京町屋づくりに惚れて研究。また秋田と国内他地域、また海外の建築物の相違点や、外観などに対する認識の違いについて講義。ワークショップでは古民家の模型をスケッチすることにより、マクロ・ミクロに多角的な視点でモノを見ることを学んだ。国際感覚あふれる第4回セミナーであった。



平成17年度総括セミナー（秋田市カレッジプラザ）

平成17年度の振り返り」講師 熊谷嘉隆（国際教養大学 助教授 兼 地域環境研究センター長）



平成17年度セミナーの最後は総括セミナー。24名の受講生のうち、2名がこの回で別れを告げ寂しい思いもあったものの、つながりは今に続いている。

また、セミナー立ち上げから事務局の柱として暖かく受講生を支えてきた舩谷さんも異動により事務局を離れることに。

寂しい別れもまた糧にして、セミナーという枠だけにとらわれない、広くゆるい関係の中でのネットワークが、このセミナーの魅力でもある。

